

質的研究—フィールドワークを焦点に



社会福祉研究では、量的・質的の両面から多くの研究が進められ、方法論の重要性が改めて注目されています。とはいえ、実際の調査の進め方や現場での工夫は、経験者の話を聞かなければ見えてこない部分も少なくありません。

今回の第回となる若手研究者・院生情報交換会は、「質的研究—フィールドワーク」をテーマに開催します。フィールドワークを通じて社会福祉の現場をどのように理解し、研究としてどのように構築していくのかを考えます。実際に地域や施設などで調査を行ってきた研究者の経験を共有しながら、調査設計の工夫、現場との関係づくり、倫理的配慮、データの整理と分析のあり方など、フィールドワークの核心に迫ります。当日のプログラムは下記の通りです。

終了後は、皆様との楽しい交流の機会をということで、付近の会場での懇親会も予定しています。どうかお気軽にご参加下さい。

14:30 開催挨拶

小山 隆（同志社大学社会福祉教育・研究支援センター長）

14:40 フィールドワーク研究法の紹介

白波瀬 達也先生（関西学院大学人間福祉学部教授）

博士（社会学）

不利が集中する都市・地域の課題をフィールドワークの手法に基づき研究されています。単に実態を把握するだけでなく、課題解決のための政策やソーシャルアクションにも取り組まれています。

16:10 質疑応答

16:30 日本社会福祉学会関西ブロック役員挨拶

17:00 懇親会（別途申込必要、予算 6000 円程度、大学院生は 3000 円程度）

2026 年

1 / 24 (土)

14:30～16:40

同志社大学

新町キャンパス

新創館 2 番教室

【参加申込・問合せ先】

同志社大学社会福祉教育・研究支援センター

E-mail: shirono@mail.doshisha.ac.jp

参加希望者は、懇親会の参加の有無も含めて、上記までメールでお申し込みください。2026 年 1 月 17 日（土）申込締切！